

韓国留学体験レポート

国際学部 2年 平尾 芽吹

韓国に行って一番驚いたのは、韓国の交通費が安かったことです。韓国の地下鉄は、私たちが住んでいた寄宿舎の近くにあった回基駅から明洞駅までの間の駅が 7 つあり、運賃は 1,250 ウォンで、日本円で 125 円ぐらいでした。一方で、日本では越後赤塚駅から新潟駅までの間の駅が 8 つで、運賃が 320 円で、韓国ウォンにすると 3,200 ウォンぐらいで、韓国の人たちからみると、運賃が高すぎて、驚くと思います。韓国の新幹線の KTX の運賃はソウルから釜山まで約 400km で、運賃が 52,900 ウォンで、日本円で約 5,300 円ぐらいでした。私は KTX には乗らず、ITX 青春に乗って、春川まで行ってみました。その値段は片道 5,300 ウォンぐらいで、日本円で、500 円ぐらいで、越後赤塚駅から新津駅行くときの値段と同じぐらいの値段で行くことができたので、行きやすかったです。

また、ソウル駅にも行って、KTX のホームにも行ってみました。日本では鉄道を見たりするためには入場料 140 円を払わないとみることができませんが、ソウル駅では入場料もなしで普通に通ることができました。そこでは普通の KTX の他にも ITX セマウルや KTX 山川も見ることができました。KTX 山川は日本の新幹線の E4 系 MAX のように同じ列車同士が連結して、走っている電車で、普通の KTX との違いは列車の形と行先が違っていました。

電車の切符は日本の場合はオレンジの券のようなものですが、韓国の切符はカードになっていました。また、切符の買い方も異なっており、T-Money を買う前、自分で韓国の切符を買う前に戸惑ったりしていました。日本では券売機や掲示板に金額が表示されてありますが、韓国では、ルートを検索し、普通の料金にプラスして、保証金 500 ウォン（日本円で約 50 円）が出るものでした。保証金を受け取る場所は到着した駅の保証金受け取り機で受け取ります。例えば、回基駅から明洞駅まで 1,250 ウォンですが、券売機で支払う時には切符を買うというところをタッチして、明洞と入力し、保証金を含めた 1,750 ウォンを券売機に入れて、明洞駅に着いたら、明洞駅の保証金受け取り機で保証金 500 ウォンを受け取ります。私は韓国留学行く前にも家族旅行で韓国に行ったことがあるので保証金があることが分かっていたのですが、保証金を受け取ることも親が全部やっていたので、どのようにやるか分かりませんでした。

したがって私は、韓国の KTX や ITX セマウルのような新幹線や地下鉄が日本よりも安く、125 円程度で遠くまで行けたので、電車の安さに驚きました。